

3.古墳とヤマト政権

〈古墳の出現とヤマト政権〉

○古墳の出現

※古墳の原型…弥生時代後期の墳丘墓

- ・3C 中頃～後半、西日本を中心に大規模な【1】をはじめとする古墳が登場。
- ・出現期の古墳
 - 奈良県【2】古墳
 - 岡山県浦間茶白山古墳
 - 福岡県石塚山古墳
- ・画一的な特徴を持つ
 - 【3】…遺体や異物を木簡や石棺に埋葬後、棺の周囲に石を積み、石室を作る。最後に天井石や天井板をかぶせる。追葬不可
 - 呪術的な【4】も埋葬される。

☆出現期古墳が広範囲で画一的な特徴を持っているのはなぜか？

- ・広域な政治連合の形成
- ・共通の意識の元で共通の墓制が用いられる。
- ・出現期の古墳で最も規模が大きいのは大和(奈良県)に見られる。
 - 大和地方を中心とする強大な政治連合の形成。
 - これを【5】と呼ぶ。
- ・古墳文化は4世紀の中頃までに東北中部まで波及
 - ヤマト政権の影響力が及んだことを示す。

・古墳時代の時期区分

前期(3世紀中頃～4世紀後半)

中期(4世紀後半～5世紀末)

後期(6～7世紀)

確認問題 1-9

- 問1 古墳時代は一般的に何期に分類されているか。 ()
- 問2 古墳には、方形のもの(方墳)、円形のもの(円墳)などさまざまな形式があるが、特に大規模なものが多い形式は何か。 ()
- 問3 前期・中期の古墳に多い棺の収蔵施設で、長方形の石室をつくり、上部から棺を収め、天井石をのせて閉鎖し、土をかぶせたものを何というか。 ()
- 問4 遺体とともに埋葬された品で、被葬者の性格や属性を示すものは何か。 ()
- 問5 出現期の古墳の分布などから、4世紀ころまでに大和地方を中心とする政治連合が形成されたと考えられているが、この政治連合を何というか。 ()

発展問題 1-9

- 問1 古墳時代は前期・中期・後期の3期に区分されているが、中期はほぼ何世紀に相当するか。 ()
- 問2 全長120メートルであり、前期古墳としては九州最大である、福岡県にある前方後円墳は何か。 ()
- 問3 全長138メートルであり、前期古墳としては中国地方最大である、岡山県にある前方後円墳は何か。 ()